

R

RITSUMEIKAN

+R 未来を生み出す人になる。
立命館大学

+R

REPORT 2008
-2009

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

R

+R REPORT 2008 -2009

c o n t e n t s

- 1 発行にあたって
- 2 2008-2009立命館大学の主な取組み
- 4 学生ひとりの教育経費・教育環境の指標
- 5 施設設備の整備
- 6 奨学金制度の充実
- 7 教育・研究強化の取組み
- 8 立命館学園2008年度の収入・支出状況

発行にあたって

立命館学園は、一世紀を超える学園創造の中で、人類共通の諸課題を追求すると共に、個性溢れる人材を養成してきました。21世紀の社会を展望し、多様化・複雑化する社会のなかで中長期的なビジョンを持ちつつ、情勢の変化に速やかにかつ柔軟に対応できるよう計画を策定し、課題を推進しています。

立命館大学では、立命館憲章でも謳っている通り、「確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる」人材の育成に向け、学生の主体的な学びを育成する、学習者中心の教育を行っています。

ここに、「+R REPORT」として、立命館大学の事業の概要ならびに財務状況についてお知らせいたします。立命館大学は今後も、学生の皆さんが積極的に行動し、自らの力によって、未来を切り拓き、未来を生み出す人材として成長するサポートを全力で続けてまいります。



+R 未来を生み出す人になる。

立命館大学

すべての学園関係者の「心をひとつ」にするためのコミュニケーションマークを制定しました。

2008-2009立命館大学の主な取組み

▶ 新学部・新プログラムの設置

■ 生命科学部・薬学部の設置

「人間を含む生物が営む生命現象の解明」や「ヒトの生命・健康の探求」を通じて、「人類の幸福」や「自然と調和した持続可能で豊かな社会」の実現に貢献することを目指し、生命科学部・薬学部を設置しました。2008年度生命科学部394名、薬学部98名の新入生を迎えました。



■ 文学部新プログラムの設置

文学部に京都学プログラム、言語コミュニケーションプログラムを設置しました。総合的・学際的に日本文化を研究し、海外に発信する本学ならではの京都学プログラム。言語コミュニケーションプログラムは、音声・文章表現の方法を実践的に学び、コミュニケーション力を養い、「ことばのプロ」を育てます。



■ 2010年 スポーツ健康科学部・研究科開設に向けた取り組み

理学、工学、保健衛生学、医学、体育学、教育学、経済学、経営学などの学問領域を含めて、総合的・学際的な学びを展開する学部、研究科を2010年4月に開設します。「スポーツ科学」「健康運動科学」「スポーツ教育」「スポーツマネジメント」の4つのコースを設け、スポーツや健康、マネジメント分野の理論と実践力を身につけた人材を育成します。



▶ 教育・連携のさらなる充実

■ 文部科学省「国際化拠点整備事業（グローバル30）」に採択

2009年7月、立命館大学は文部科学省「国際化拠点整備事業（グローバル30）」に採択されました。東京大学、京都大学等全国13大学が選定された本事業は、日本の高等教育における国際競争力の強化及び留学生等に質の高い教育を提供することを目的としています。この採択を受けて、本学では英語のみで学位取得可能なコースの新設など、大学教育の国際化整備を進めるとともに、留学生と日本人学生が同じ環境の中で切磋琢磨しながら学ぶことを通じて、国際的に活躍できる高度な人材を育成します。



■ 映画「京都太秦恋物語」を共同製作

映像学部では2008年度より、本学客員教授・山田洋次監督の原案にもとづき、松竹株式会社と連携して劇映画『京都太秦恋物語』の製作に取り組む実践型授業を展開しています。

2008年度は『京都太秦恋物語』のシナリオ創作を実施。2009年度は映画製作に関わる全工程を学び、演出、撮影、照明、美術、録音、編集、製作、プロデューサー等についての現場実習を行っています。本授業は、映画創造に必要な諸能力と、人間や社会に対して真摯に向き合う人間力の涵養を目的としています。なお、本映画は2010年春に公開予定です。



▶ 学生の活躍

■ アメリカンフットボール部 パンサーズがライスボウル優勝!

2009年1月3日(土)、新春の東京ドームで行われたアメリカンフットボール日本選手権第62回ライスボウルで、立命館大学アメリカンフットボール部パンサーズは、社会人王者パナソニック電工インパルスと17対13で破り、5年ぶりとなる3回目の日本一に輝きました。



■ 全日本大学女子駅伝で立命館大学が3連覇

2008年10月26日(日)、第26回全日本大学女子駅伝対抗選手権大会が、「杜の都」仙台市の宮城陸上競技場から仙台市役所前市民広場までの6区間、38.6キロで行われ、立命館大学女子陸上競技部が3連覇を達成、史上最多の5度目の優勝を飾りました。また3つの区間で新記録を更新しました。



難関試験 合格実績

2008年度公認会計士試験(本学掌握分)71名
2009年度国家公務員採用I種試験22名
2009年度新司法試験60名

■ 全国私立大学FD (Faculty Development) 連携フォーラム設立

私立大学におけるFD (Faculty Development) 連携に向けた取り組みとして、関東・関西の私立大学で組織する「全国私立大学FD連携フォーラム(初年度代表幹事校:立命館大学)」が2008年12月発足しました。

また、2009年8月には、衣笠キャンパスにおいて、「学生FDサミット」を開催。これは、全国の大学の学生と教職員が大学の授業、教育について考えるというもので、今回は、26大学から約100名がサミットに参加し活発な意見交換がなされました。立命館大学からは、大学の授業を「学生が真に求める授業」とするため、様々な活動・企画を通して学生の視点で授業や教育のあり方を検討する学生FDスタッフが参加、活躍しました。



■ 「ベースボール・クリスマス'09 IN びわこ・くさつ」を開催

日本プロ野球選手会と学校法人立命館は、2009年6月「選学共同」をテーマに、スポーツを通じた地域活性化や各種共同研究などを目的に、包括協定を締結しました。協定締結を記念して、子どもも大人も楽しめる、ベースボールフェスティバル「ベースボール・クリスマス'09 IN びわこ・くさつ(主催:日本プロ野球選手会)」を2009年12月6日(日)にびわこ・くさつキャンパス(BKC)にて開催しました。



スポーツニッポン新聞社提供

学生ひとりの教育経費

967,437 円
(68.9%)

教育基礎経費

教職員人件費、授業やプログラムにかかる消耗品や印刷費、メディア・図書館関係の経費等です。

90,422 円
(6.4%)

教育支援経費

就職支援や課外活動支援経費、地域・社会連携にかかる経費、広報費等です。

347,395 円
(24.7%)

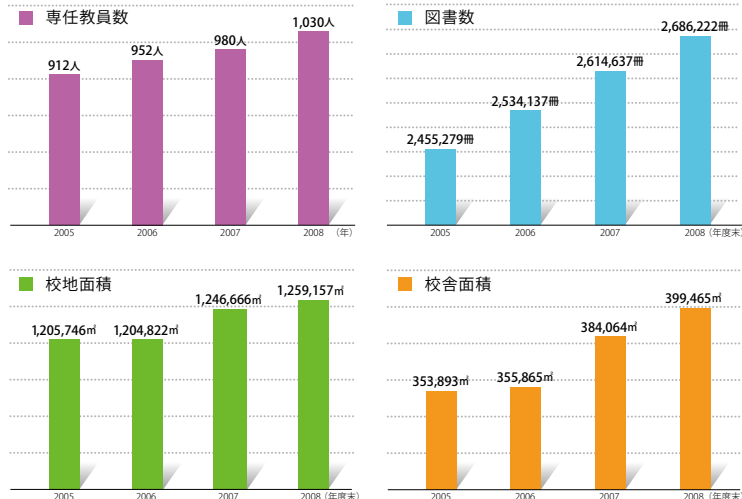
教育条件整備経費

水光熱費や清掃・保安等のキャンパス管理、施設設備の改修・整備にかかる経費等です。

合計 1,405,254 円
(学生ひとりあたりの平均)

※2008 年度決算より

教育環境の指標



4

施設設備の整備

2008年度実施した整備事業

映像学部松竹スタジオ	718百万円
サイエンスコア薬草園	31百万円
ユニオンスクエア(食堂施設:573席増加)	229百万円
女子陸上競技部合宿所	112百万円
プリズムハウス(マルチメディアルーム整備)	60百万円
喫煙シェルター設置	37百万円
アクロスウイング(国際交流ラウンジ整備等)	33百万円

- ・以学館演習・実習室、トイレ改修
- ・清心館共同研究室防音室設置
- ・学びステーション風除室設置
- ・柘野ホッケー場人工芝張替
- ・朱雀リーガルクリニック改修 他

※2009年度は、BKCSスポーツ健康科学部新棟、衣笠サブウェイ設置、西園寺記念館改修、アカデミア21改修等を予定しています。

ユニオンスクエア(食堂施設)リニューアルオープン

200円台からの朝食、アスリート食、留学生向けハラル・エスニック食などを提供する、学生がデザインした「新フードコート」がオープンしました。

このフードコートは「学生の学びと成長」を食事面からも支援するというコンセプトで、びわこ・くさつキャンパス(BKC)ユニオンスクエア2階にオープン。食育の観点を取り入れたメニューを揃え、不規則になりがちな朝食も、キャンパスで栄養面に



配慮した食事を低価格で取ることができます。

■ 特色あるメニュー

200円台からの朝食、和洋中の日替わり定食、焼き立てパン、アスリート食、ハラル・エスニック食 など



衣笠セミナーハウスが西園寺記念館へ移転

セミナーハウスは学生が、自主的・集団的な学習、研究や学術・文化活動を進めるための教育研究施設です。

2009年10月には、衣笠セミナーハウスを西園寺記念館へ移転し、多くの学生が快適により充実した活動ができるようリニューアルしました。

衣笠キャンパスから徒歩10分程度の位置にあり、宿泊室(和室・洋室)と会議室を備えています。従来の施設に比べて収容数も増え、会議室は538名、宿泊室は198名が同時に利用できます。



5

奨学金制度の充実

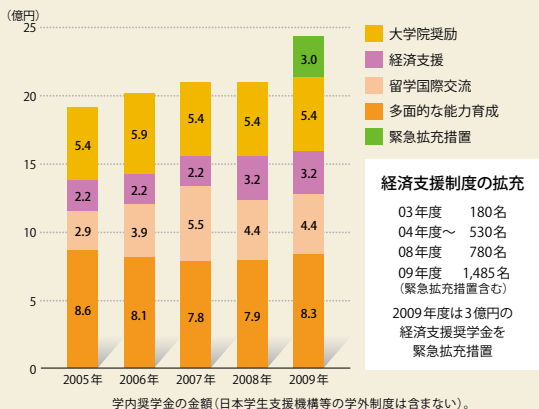
■ 学部学生への奨学金制度

- 1) 多面的な能力の育成・奨励
西園寺育英奨学金、
課外自主活動奨励金など
- 2) 留学・国際交流支援
DUDP派遣奨学金、
UBC-JP奨学金など
- 3) 経済的に修学困難な学生支援
修学奨励奨学金、
緊急入学時給付奨学金など

■ 大学院生への奨学金制度

- 1) 大学院特別奨励奨学金、
特別育英奨学金など
- 2) 【2009年度新設】
内部進学者への奨学金制度

給付型の奨学金予算額の推移



経済支援制度の拡充

03年度 180名
04年度～ 530名
08年度 780名
09年度 1,485名
(緊急拡充措置含む)

2009年度は3億円の
経済支援奨学金を
緊急拡充措置

▶ 経済的困難を抱える学生を支援する 奨学金等の緊急拡充措置を実施(2009年度)

立命館大学では学生の学びと成長を支える奨学金制度を用意しています。その中で、経済的困難を抱える学生を支援する奨学金では、昨今の深刻かつ急激な経済環境の悪化を受けて、奨学金を支給する人数を大幅に拡充しました。

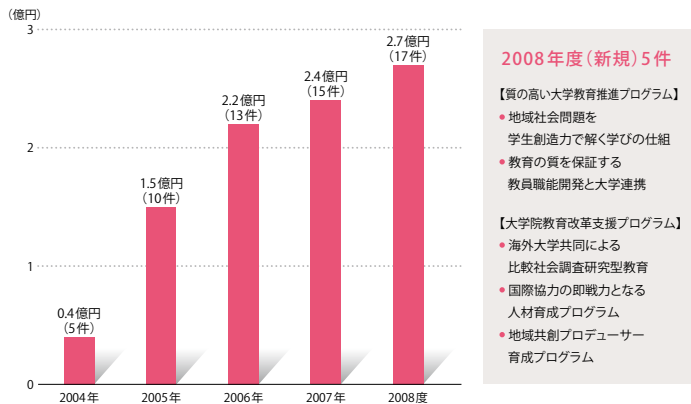
支給人数：通常780名→2009年度 1,485名(拡充を行った奨学金制度)

【在学生】「立命館大学修学奨励奨学金」を約500名分拡充(750名→1,250名)
【新入生】「立命館大学緊急入学時給付奨学金」を約180名分拡充(20名→200名)
「立命館大学学内推薦入学者奨学金」を約25名分拡充(10名→35名)

2008年度 支給実績	人数	総額(千円)
西園寺育英奨学金	725名	417,201
入学試験成績優秀者特別奨学金	291名	154,675
修学奨励奨学金	750名	283,635
大学院特別奨励奨学金(前期)	420名	93,788
大学院特別奨励奨学金(後期)	418名	93,915
大学院特別育英奨学金	407名	183,395
法科大学院奨励奨学金	98名	73,989

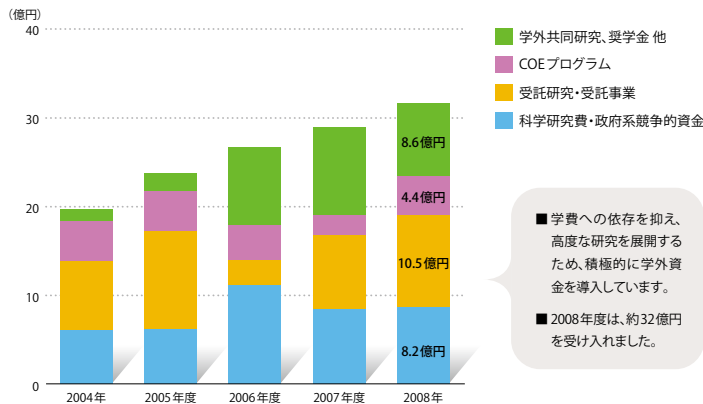
教育・研究強化の取組み

▶ 教育改革プログラム(文部科学省)の採択



文部科学省「国公私立大学を通じた大学教育改革の支援」の採択実績。

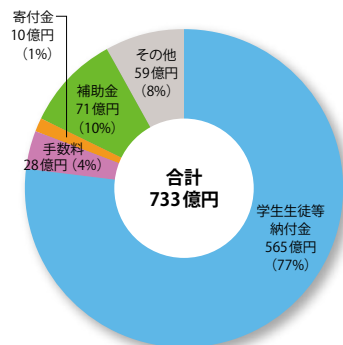
▶ 学外からの研究資金受入額



立命館大学では、競争的資金や学外資金の獲得を積極的に行うことによって、社会のニーズにあった教育・研究およびその成果の還元に取り組んでいます。

立命館学園 2008年度の収入・支出状況

帰属収入



帰属収入

前年度に比べ4億円増加となりました。

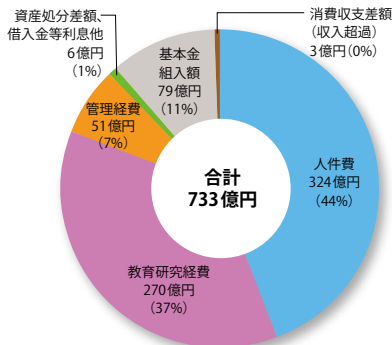
基本金組入額

施設整備や奨学基金充実により79億円を組入しました。

消費収入

帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は654億円です。

消費支出・基本金組入額・消費収支差額



人件費

教員人件費は203億円、職員人件費は102億円です。

奨学金

教育研究経費に含まれる奨学金(給付型の学内制度による)は43億円です(各大学の合計)。

消費支出

前年度に比べ33億円の増加となりました。

消費収支差額

消費収支計算書は学校法人の経営の状態を表します。学園の2008年度決算では3億円の収入超過でした。立命館では消費収入(帰属収入-基本金組入額)と消費支出が均衡となるように財政運営をおこなっています。

基本金組入額

2008年度は、施設整備や奨学基金への積み立てなどを行い、79億円を基本金に組み入れています。帰属収入に対する比率は11%です。

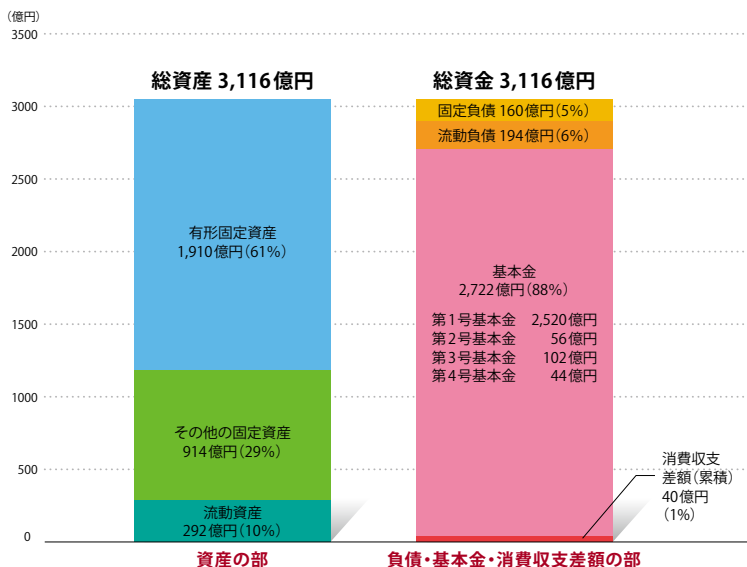
自己資金

貸借対照表は学校法人の財政状況を表します。2008年度末では、自己資金(基本金+累積消費収支差額)が2,762億円、他人資金(負債。借入金や学校債など)が354億円です。総資金に占める自己資金の比率は88.6%で、安定した財政状況となっています。

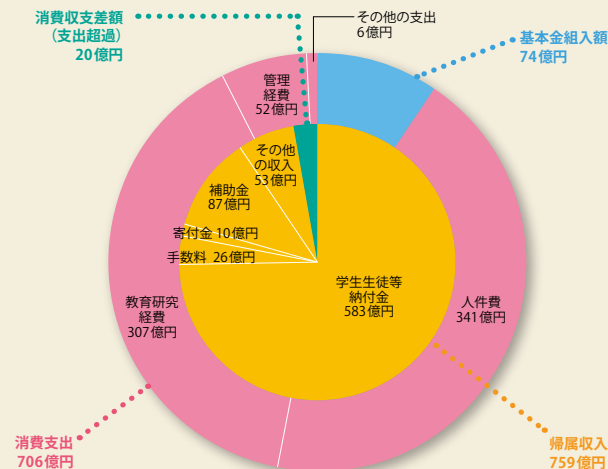
ホームページでの情報公開

(学園財政の詳細は、計算書類 http://www.ritsumeijp/public-info/public02_j.html、事業報告書 http://www.ritsumeijp/profile/a08_j.htmlをご覧ください)

▶ 2008年度末 総資産・総資金に対する構成比例



2009年度予算 ※当初予算





〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 <http://www.ritsumei.jp/>